



編集・発行 徳島県議会  
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地  
TEL.088-621-3010 FAX.088-655-2530  
ホームページアドレス  
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>

**「とくしま県議会だより」が、第100号を迎えました!**

平成6年5月に第1号を発行して以来、今号で第100号を迎えました。県民の皆さまの代表機関として、その負託と信頼に応えるため、知事等の執行機関の事務執行に対する監視・評価はもとより、議員提案による17件の条例制定をはじめ、県の主要な計画の立案段階からの積極的な関与、大学との包括連携協定の締結など、政策立案機能の充実・強化を図ってまいりました。また、先進的な事務活動費の新ガイドラインの策定や適正執行にも取り組んでいるところです。

今後とも、「議会議能の強化」、「効果的な議運運営」、「開かれた議会」の三つの視点から、改革をさらに進め、議会の活性化に全力で取り組みます。

**主な審議の結果**

- 可決・同意・認定・承認された議案
  - 平成30年度補正予算
    - 一般会計(1件) / 補正予算額は18億9,430万円、補正後の予算は5,000億4,140万1千円
    - 特別会計(1件)
  - 条例の改正(13件)
    - 笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例の一部改正(議員提出)
    - 徳島県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正(議員提出)
    - 徳島県議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部改正(議員提出)
    - 住民基本台帳法施行条例の一部改正 など
  - 指定管理者の指定(3件) ● 人事案件(2件)
  - 決算の認定(2件) ● 剰余金の処分及び決算の認定(4件)
  - 専決処分の承認(1件) ● その他(1件)
- 可決された意見書(3件)
  - 森林整備等林野関係事業の推進に関する意見書
  - 国の教育政策における財政的支援を求める意見書
  - 消費者庁・消費者委員会・国民生活センターの徳島移転の実現を求める意見書
- 採択された請願(1件)
  - 国の教育政策における財政的支援について

**議会トピックス**

- 四国大学との包括連携協定に基づく事業として、同大学に議員が赴き、「大学生の皆さんへー私の経験を踏まえてー」をテーマに講演を行いました。(10月24日)
- 徳島文理大学との包括連携協定に基づく事業として、大学生と議員が「若者のとくしま回帰について」をテーマに意見交換を行いました。(10月25日)また、「障害者と高等教育ー社会的及び職業的自立を図るためにー」を演題に同大学教授による講演会を開催しました。(11月19日)
- 都道府県議会議員が、政策課題等の情報や意見の交換を行い、議会間の連携を深める都道府県議会議員研究交流大会(東京都)が開催され、議員10名が参加しました。また、議会の広報・情報発信をテーマとした分科会において本県議会の取り組みを発表しました。(11月13日)
- 南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県議会議長会議が提言活動を行い、重清議長が、内閣府へ南海トラフ地震・津波対策に必要な財源の確保等について要請しました。(11月28日)
- 議決対象とした「新たな総合計画」及び「徳島県男女共同参画基本計画」に係る全議員勉強会を開催し、質疑・提言を行いました。(12月20日)

**県議会の見学者等**

- 堀江南小学校(鳴門市) ● 三島小学校(美馬市)
- 横見小学校(阿南市)
- 鳴門教育大学高等学校教育実践専攻教職実践力高度化コース

**議会日程**

月	日	議案
1	7	常任委員会
	8. 12	特別委員会
	13	本会議(開会)
2	19	本会議(代表質問)
	20. 21	本会議(一般質問)
3	25~28	常任委員会
	1. 4	特別委員会
	8	本会議(閉会)

日程は予定であり、変更する場合があります。

**平成30年11月徳島県議会 定例会の概要**  
(会期 11月30日~12月20日)

開会日には、11月補正予算などが提案され、消費者庁等の徳島移転、高速道路ネットワークの整備促進、国内外からの観光誘客の推進などの重要課題について、所信が述べられました。

代表一般質問では、知事の政治姿勢、若者のとくしま回帰の促進、消費者庁の取組の推進、補助事業の有効性、介護予防の充実や介護人材の確保等の高齢者福祉施策、地域公共交通の維持、河川の治水、利水対策、災害への事前対策や災害医療体制の充実などについて議論しました。

今定例会では、「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」の一部改正等3件、「森林整備等林野関係事業の推進に関する意見書」等の意見書3件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案25件を原案とおり可決・同意・認定・承認し、請願1件を採択しました。

成30年7月豪雨等の災害の教訓を踏まえ、受援体制の整備や西部防災館を活用した防災力強化が重要。県全体の災害対応強化に今後どう取り組むのか。

地域防災計画に受援体制の整備を明確に位置づけ、取り組みを加速させる。また、西部防災館と連携し、災害時の行政体制のさらなる充実を図る。

平成30年7月豪雨など一連の災害を踏まえ、災害医療に携わる人材の育成や、停電に伴う医療機関の電気水の確保等、今後、災害医療体制の充実、どう取り組むのか。

継続的に訓練や研修を実施することにより、非常用電源の強化等、医療機関のハコ側の機能強化対策が着実に進めよう、周知啓発や国への提言を行う。

2030年には訪日外国人旅行者6千万人を目指すと言われる中、本県観光産業を成長産業とするため、一人ひとりの観光消費額を増加させる取り組みを、全国最多の広域観光周遊ルートを持つ強みを生かすとともに、体験型旅行商品を生かすことができる観光地経済のけん引役として成長するよう、オール徳島の総力を結集し取り組む。

**代表・一般質問から**

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の要旨は次のとおりです。

**代表質問**

**挑戦を続けたいという熱い思いがあるか、知事選への決意を**  
櫻本 孝  
(徳島県議会自由民主党)

県議としても、県政発展に全力を傾けてきたが、残念ながらまだ課題山積。知事には、徳島のため挑戦を続けたいという熱い思いがある。次期知事選に向けた決意を。

これまでに培ってきた、一步先の未来の具現化を確し、徳島県が夢と希望をたもたず未知の世界への輝きとなるべく、次期知事選に出陣する。

2016年度に向けた地域医療構想の実現は、在宅医療の充実が必要不可欠。地域包括ケアシステムの連携体制の中心となるべき診療所の機能維持に、今

**代表質問**

**県議としても、県政発展に全力を傾けてきたが、残念ながらまだ課題山積。知事には、徳島のため挑戦を続けたいという熱い思いがある。次期知事選に向けた決意を。**  
川端正義  
(徳島県議会自由民主党)

南海トラフ巨大地震や豪雨災害に備えた災害対応力の強化を

**代表質問**

**南海トラフ巨大地震や豪雨災害に備えた災害対応力の強化を**  
高井美穂  
(新風くしま)

三好長寿会の活動をはじめ、住民生活に地域に密着した文化活動は、地域の活力を生み出し、真の地方創生につながる。地域の文化活動の促進、継続に向けて、どのように取り組むのか。

今年度から県民の幅広い文化活動を支援する制度を創設。今後とも県民主体の文化活動を推進し、文化と経済の好循環による地方創生の実現につなげる。

多様な子育てニーズに応えるため、市町村と連携した選択の幅がある支援策が必要。子育て支援のさらなる充実に向け、在宅育児を応援するためのクーポン事業をどう展開するのか。

**一般質問**

**子育て当事者のニーズが、高い一時預かりのほか、産後ケアも対象とするなど、利用者の利便性を高めることを最優先に、きめ細やかで幅広い支援を届ける。**  
中山俊雄  
(徳島県議会自由民主党)

子育て当事者のニーズが、高い一時預かりのほか、産後ケアも対象とするなど、利用者の利便性を高めることを最優先に、きめ細やかで幅広い支援を届ける。

生活インフラとして、地域が交通を守り、高齢者・障害者が通学し、観光や運動などの産業政策、通学手段確保等の視点が対策を講じよう。

策定中の次世代地域公共交通ビジョンを先取りし、路線バスと鉄道の接続改善、乗換拠点となる施設への乗り入れ推進等、マイカーを利用しない高齢者や学生、観光客の利便性を向上を図る。

**一般質問**

**補助金を支出する必要性や有効性について明確な説明を**  
佐樹 徳  
(徳島県議会自由民主党)

徳島製菓事業協業組合に対して、他の自治体では事例のない内容の補助金長期間にわたって支出している。他県の類似施設は補助金なしで運営されており、なぜ本県のみの補助金を支出する必要があるのか。他県との環境の違いや、どのような判断基準で支出しているのか具体的に説明すべき。

補助事業は、小売販売事業者の円滑な事業活動の安定化と畜場等の衛生環境の構築や畜産副産物の再利用化、県内養鶏産品の振興、畜産環境の保全等、県民の公衆衛生や環境保全に有効な事業が実施でき、不安定な事業の重要性は高まっています。今後、事業の有効性、必要性等の見直しを検討し、適切な執行に努める。

平成29年度の徳島県製菓事業協業組合への補助金については、各部署共に前年度比10%減額された。その削減の理由は、何であらうか。各部の意見は、予算編成に当たっては、厳しい財政状況を踏まえ、現地調査により畜産副産物の処理に要する経費等の精査を行い、部局間で情報の共有を図るとともに、問題として市民団体から

**一般質問**

**若者が主体的に担う取り組みを**  
中山俊雄  
(徳島県議会自由民主党)

本県からの転出者半数が若者が占める厳しい状況。若者自身がその感性を生かし、徳島の魅力や情報の発信等、若者のふるさと回帰促進に向け、主体的に取り組むべき。若者ならではの感性で、徳島の魅力を発信し、若者のふるさと回帰促進に向け、主体的に取り組むべき。

若者ならではの感性で、徳島の魅力を発信し、若者のふるさと回帰促進に向け、主体的に取り組むべき。

**一般質問**

**人口減少・少子高齢化が進行する中、将来に向けた安定財源の確保は重要。今後とも、効果的な消費増税対策を国に求めるとともに、県内経済や県民の暮らしを守り抜く施策を展開する。**  
西沢貴朗  
(徳島県議会自由民主党)

人口減少・少子高齢化が進行する中、将来に向けた安定財源の確保は重要。今後とも、効果的な消費増税対策を国に求めるとともに、県内経済や県民の暮らしを守り抜く施策を展開する。

消費増税が導入された場合、中小企業等が危惧している。国に大きな影響が危惧される。国に対し、消費増税の中止を求め、他地域にも有意義である。これらの解決に向け、議論を喚起するため、全国に情報発信する。

**一般質問**

**外部専門家を招請したコンサルタントや共同利用施設整備促進など、より協業化の推進を**  
西沢貴朗  
(徳島県議会自由民主党)

外部専門家を招請したコンサルタントや共同利用施設整備促進など、より協業化の推進を。

協業化の推進を。

**一般質問**

**外部専門家を招請したコンサルタントや共同利用施設整備促進など、より協業化の推進を**  
西沢貴朗  
(徳島県議会自由民主党)

外部専門家を招請したコンサルタントや共同利用施設整備促進など、より協業化の推進を。

協業化の推進を。

**一般質問**

**外部専門家を招請したコンサルタントや共同利用施設整備促進など、より協業化の推進を**  
西沢貴朗  
(徳島県議会自由民主党)

外部専門家を招請したコンサルタントや共同利用施設整備促進など、より協業化の推進を。

協業化の推進を。

**一般質問**

**外部専門家を招請したコンサルタントや共同利用施設整備促進など、より協業化の推進を**  
西沢貴朗  
(徳島県議会自由民主党)

外部専門家を招請したコンサルタントや共同利用施設整備促進など、より協業化の推進を。

協業化の推進を。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。

**「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」を改正しました**

この条例は、議員提案により平成24年2月に制定されました。歯と口腔の健康は、健康な生活を送る基礎となるほか、生活習慣病の予防につながることから、近年では、全体的な疾患の状況が踏まえた上で、口腔機能の維持・回復を目指す取り組みが求められています。そこで、県民の皆さまの歯と口腔の健康づくりをさらに推進するため、歯科と医師の連携体制強化のための取り組みの推進、8020運動及びオールフレイル(口腔機能の軽微な低下)対策の推進などを新たに追加しました。